

第4回 大分県 先端技術研究会

技術が著しく進歩する中、先端技術を活用し、
産業振興や地域課題の解決に繋げていくためには、
これまで以上に産学官の連携が求められています。
県では、そうした連携をより戦略的に生み出していくため、
本研究会を立ち上げました。
第4回目はテーマを「ロボティクス」とし、
最先端の研究開発・応用に取り組んでいる
大学研究者や企業開発者にご講演いただきます。
県内企業をはじめとした皆様は、ぜひご参加ください。



参加申込み

<https://lne.st/20251210>

OKUMA TECH 株式会社

取締役 戦略最高責任者

川口 眞史 氏



ドローン×水素が拓く 産業連携の新地平

ドローンはインフラ点検や物資運搬で活用が進む一方、長時間の飛行や重量物の運搬が求められ、従来のバッテリー以外の電源が求められている。エネルギー密度が高い水素を燃料に発電し飛行する水素燃料電池搭載のドローンや、水素利用を容易にするための可搬式水素貯蔵装置など、水素を用いたドローンやエネルギー源としての水素の可能性についてお話しいただきます。

【略歴】米国ニューヨークの美大PARSONSを卒業後、イギリスの大手ブランドコンサルティング会社に企業ブランド戦略立案に従事。電通グループにて多数のマーケティング案件に従事。社内ベンチャー制度により新規事業を立ち上げ、のちに100億円事業へと育つ原型ビジネスモデルを牽引。2020年より福島県大熊町の復興プロジェクトに従事。2021年、代表取締役の李、タイズスタイル吉田と共に福島発ベンチャーOKUMA DRONE(現OKUMA TECH 株式会社)を創業。

第4回テーマ

ロボティクス



KiQ Robotics 株式会社

代表取締役 CEO

滝本 隆 氏

ラティス構造の「指」が拓く 産業用ロボット革新

ロボットによる生産現場の自動化が進む中で、人代替のために多種多様な形状の製品やコンテナを掴むことがロボットハンドに求められている。KiQ Robotics 株式会社は「すべての人が幸福に働ける社会をつくる」というミッションのもと、これまで自動化が難しかった多品種・異形状ワークの把持を実現する「ラティス構造柔軟指」や、簡易導入可能なロボットパッケージを開発。本講演では、柔軟指の研究開発や導入事例等の取り組みについてお話しいただきます。

【略歴】福岡県出身。2002年北九州高等専門学校専攻科を修了後、大阪大学大学院基礎工学研究科に進学、博士(工学)。2008年から福岡県産業科学技術振興財団研究員を務め、2010年北九州高等学校専門学校機械工学科の講師に。准教授だった2012年に合同会社Next Technologyを設立。2019年にKiQ Robotics 株式会社を設立。

日時

2025年
12月10日(水)
14:00-16:40 (13:45開場)

会場

コレジオ大分 6F OWNSPACE
〒870-0839 大分県大分市金池南1丁目5-1

問合せ先

開催趣旨などに関すること

大分県商工観光労働部 先端技術挑戦課

電話 097-506-2892

当日の申込み方法や当日の入場などに関すること

株式会社リバネス 地域開発事業部 [担当] 戸上、福田

電話 03-5227-4198

メール ld@lne.jp

[主催] 大分県 [運営委託] 株式会社リバネス